

JICA 支援事業に採択

ケニアで KiimOL と田植機を普及へ

(株)唐沢農

機サービ
ス 長野
県東御市鞍
掛 846-1
唐澤
健之社長 〓
は、JICA
A が募集し
た中小企
業・SDG
s ビジネス
支援事業に
おいて、(株)

唐沢農機
商船三井(東京都港区・
橋本剛社長)が運営する



KiimOL と共に応募していた「ケニア国田植機利用のための育苗技術開発と田植機を活用したビジネス化実証事業」がこのほど採択された。約1年をかけてケニアで田植機の普及を目指す。またケニア政府関係省庁とも連携しながら、最適な育苗方法の調査・実証を行い、顧客候補・パートナーの開拓、田植機使用方法のレクチャー等を実施し、田植機を活用したサービスマネジメントビジネスモデルを検証する。

昨年9月にケニアで実施したデモンストラーション

ケニアでは米の消費が伸び、国内生産量も増加している一方で、

未だ消費量の約80%を輸入に頼っていることから、ケニア政府は稲作灌漑地域の拡大を図っている。

一方、現在ケニアでは田植機はほぼすべて手作業で行われており、その拡大ペースに人手が追いついていないのが実情だ。加えて等間隔でない条間により除草作業が非効率になっており、これらが生産コストの増大に繋がっていることから、田植機の機械化により大きな生産性向上の余地があることから乗用・歩行式田植機を現地に輸出し、技術支援している。

現地に適した方法で大規模な育苗環境を整備し、田植機の普及促進と生産性向上し課題改善への貢献を目指す。